

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	健康推進課	健康推進担当	内線等	8078
----	-------	-------	--------	-----	------

事業コード		事務事業名	休日急病診療所事業
根拠法令等	蒲郡市保健医療センター管理規則		C規則

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	医療
------------------	----

事務事業の内容

対象	休日に発生した急病患者に対して
手段	診療所を運営することにより
想定する成果	安心して医療を受けることができるようにする。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
利用者数	1,468人	2,014人	1,896人
1日当たり利用者数	21.0人	28.4人	26.7人
年間開設日数	70日	71日	71日

目標値

成果指標名	1日当たりの診療所利用者数
成果指標の説明	診療所利用者数 / 開設日数

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画			26.7人
	実績	21.0人	28.4人	
事業費	事業費	56,209,039	57,185,269	57,295,000
	人件費	857,200	835,800	849,700
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	57,066,239	58,021,069	58,144,700
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	11,842,507	16,356,820	15,381,710
	一般財源	45,223,732	41,664,249	42,762,990

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	広報やポスター掲示により、利用者数を増加させた。
効率性	3	3	新市民病院の救急外来と競合する部分があるので、第1次救急医療、第2次救急医療の分担が必要である。
公共性	6	6	市民の救急医療に対応するには必要である。
緊急度	6	6	開設当時は緊急度はあったと思われるが、新市民病院の緊急外来が出来てから緊急度は低くなっていく。
小計	21	21	
市民参加度	3	6	医師会の休日急病診療所の担当者から市民の声を聞きとっている。
合計	24	27	
総合評価	C	B	市民病院との機能分担を見直す必要があると思われる。

これまでに実施した改善点

達成度	広報・ポスター掲示により利用者の増加を図った。また周辺の町に周知を図り、市外の利用者の増加を図った。
効率性	利用者の増加を図り、一般財源の持ち出しを減少させた。
公共性	
緊急度	
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	市民及び周辺の町（幡豆町、幸田町、御津町等）に周知を図り、利用者の増加を図りたい。
効率性	利用者の増加及び運営費の削減を図り、一般財源の持ち出しを減少させたい。
公共性	
緊急度	
市民参加度	